

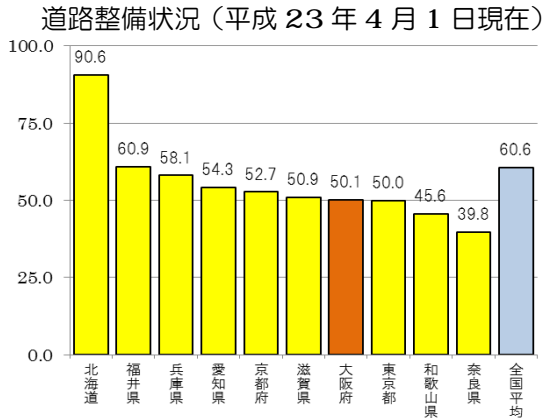
大阪の交通の現状

道路の整備率

大阪府では、平成 23 年 4 月 1 日現在、直轄国道や、政令市管理分を含む府域の国・都道府県道の整備率は全国平均 60.6% に対し、50.1% となっており、全国で 39 番目となっています。

整備率＝整備済延長／道路実延長

整備済延長＝改良済延長のうち混雑度 1.0 以上の延長を除いた延長



道路統計年報 2012

大阪府管理道路について（平成 24 年 4 月 1 日現在）

種別	路線数	実延長 (km)	橋梁数
一般国道	15	326.5	597
府道	178	1,202.6	1,613
主要府道	46	669.4	1,068
一般府道	132	533.2	545
計	193	1,529.1	2,210

平成 24 年度「道路現況調査」

バリアフリー化

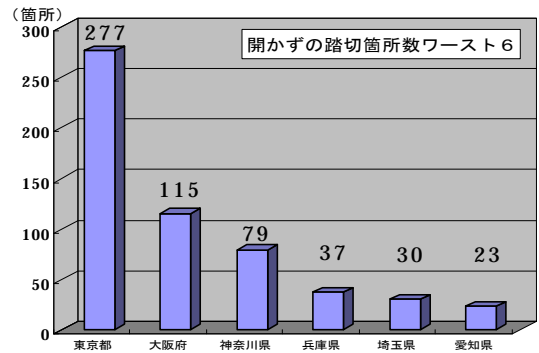
安全かつ安心できる、人にやさしいみちづくりの実現のために、必要な歩行者空間の整備をしています。大阪府内の特定道路（※）の整備率は約 70% となっています。

※特定道路

生活関連経路を構成する道路のうち、多数の高齢者、障がい者等の移動が、通常、徒歩で行われる道路であり、国土交通大臣が指定したものです。

開かずの踏切

全国で約 600 箇所あり、その 98% が東京、大阪、愛知等の三大都市圏に集中しており、大阪府は 2 番目に「開かずの踏切」が多い地域となっています。



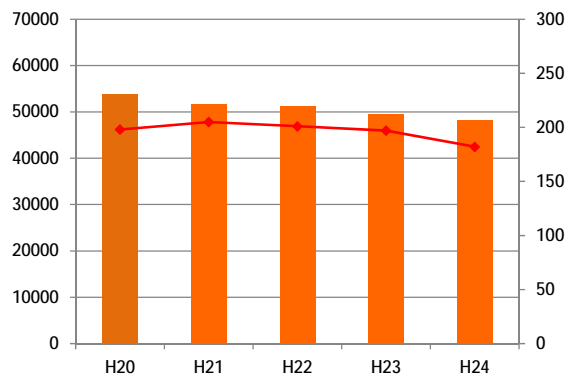
踏切交通実態総点検結果（平成 19 年 4 月公表）

府内の交通事故

大阪府下における平成 24 年中の交通事故は、件数 48,212 件、死者数 182 人、負傷者 57,804 人で、前年に比べると、件数、死者数及び負傷者数は減少しました。

また、平成 24 年の死者数については、昭和 23 年以降の統計史上、過去最少となりました。

大阪の交通事故 経年推移



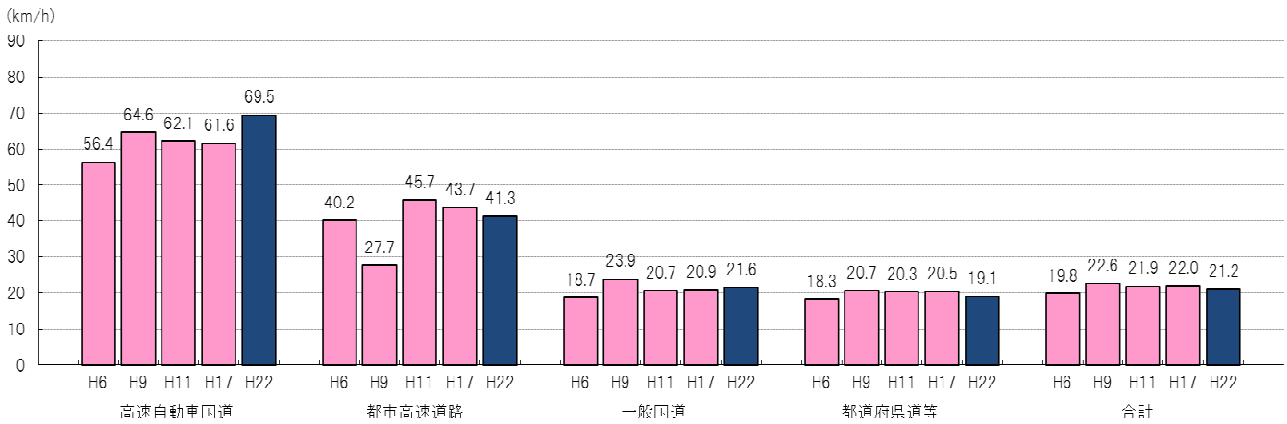
道路における交通量調査(交通量・旅行速度・車線数等)

平成22年9月下旬から11月にかけて、国土交通省、都道府県、政令指定都市及び高速道路会社等の関係機関が連携し、今後の交通計画等を検討するための基礎資料を得ることを目的に、道路交通センサス(「車」に着目した調査)を実施しました。

◆調査結果の一例

【混雑時旅行速度の推移】

全道路の混雑時旅行速度は21.2kmで、平成9年度からほぼ横ばいで推移しています。
道路種別では高速自動車国道で大きく上昇しています。



詳しくは、[大阪府道路交通センサス](#)

検索

URL: <http://www.pref.osaka.jp/doroseibi/census/index.html>

人の移動の実態調査(交通手段・目的・トリップ数)

近畿圏パーソントリップ調査は、昭和45年から10年に一度実施しており、国土交通省、近畿の府県・政令指定都市等の関係機関が連携し、人の移動の実態(日ごろの生活の中で、どのような交通手段・目的で移動しているかなど)を調査するものです。

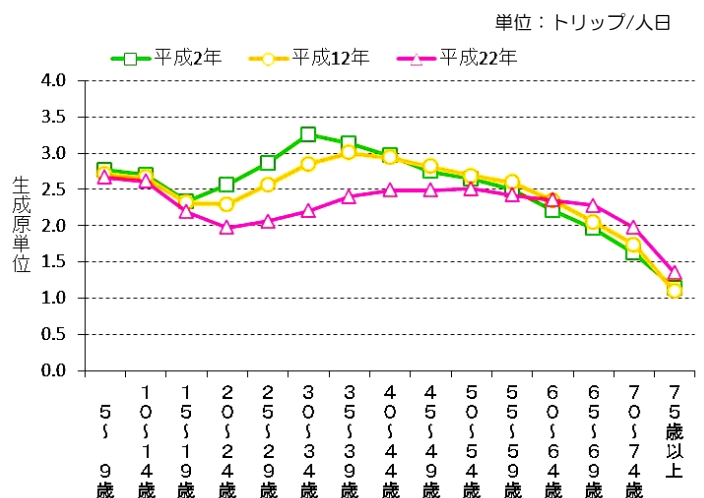
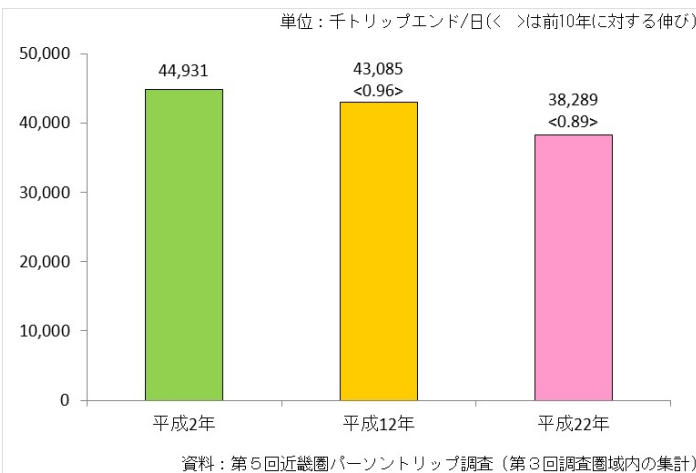
平成22年度に実施した第5回近畿圏パーソントリップ調査の調査結果は以下のウェブサイトで公開しています。

◆調査結果の一例

【平日の発生集中量の推移(平成2年～平成22年)】

【年齢階層別に見た平日の生成原単位(※)の推移

(平成2年～平成22年)



※生成原単位: 1人1日あたりの平均トリップ数

例えば、1日に1人の方が自宅とスーパーマーケットを往復した場合は2トリップ/人日となります。

詳しくは、[大阪府 近畿PT](#)

検索

URL: <http://www.pref.osaka.jp/toshikotsu/kinki-pt/index.html>

主要渋滞箇所（京阪神圏ボトルネック対策協議会）

- 京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会において、パブリックコメント（意見収集）の結果及び最新データ等による検証を踏まえた「地域の主要渋滞箇所(高速道路、一般道路)」が平成 25 年 2 月に公表されました。

【京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会】（事務局：近畿地方整備局）

渋滞箇所の特定、渋滞対策の基本方針の検討等を行う場として平成 24 年 7 月に設立。京阪神圏は、大阪府を中心として、京都南部、阪神地域を基本として構成。

メンバー：道路管理者（自治体、NEXCO、阪高）、交通管理者、道路利用団体（関経連等）

■京阪神圏の主要渋滞箇所数

道路種別	区分・府県別	主要渋滞箇所数
高速道路	全国ネットワーク	16 箇所
	阪神圏中心部	23 箇所
	計	39 箇所
一般道路	京都府（京阪神圏内）	134 箇所
	大阪府	327 箇所
	兵庫県（京阪神圏内）	112 箇所
	計	573 箇所

■府内の主要渋滞箇所数の内訳（一般道路）

道路管理者	主要渋滞箇所数	備考
国	111 箇所	国道と府道の交差点 49 箇所含む
大阪府	151 箇所	
大阪市	40 箇所	
堺市	22 箇所	
その他の市	3 箇所	
合計	327 箇所	

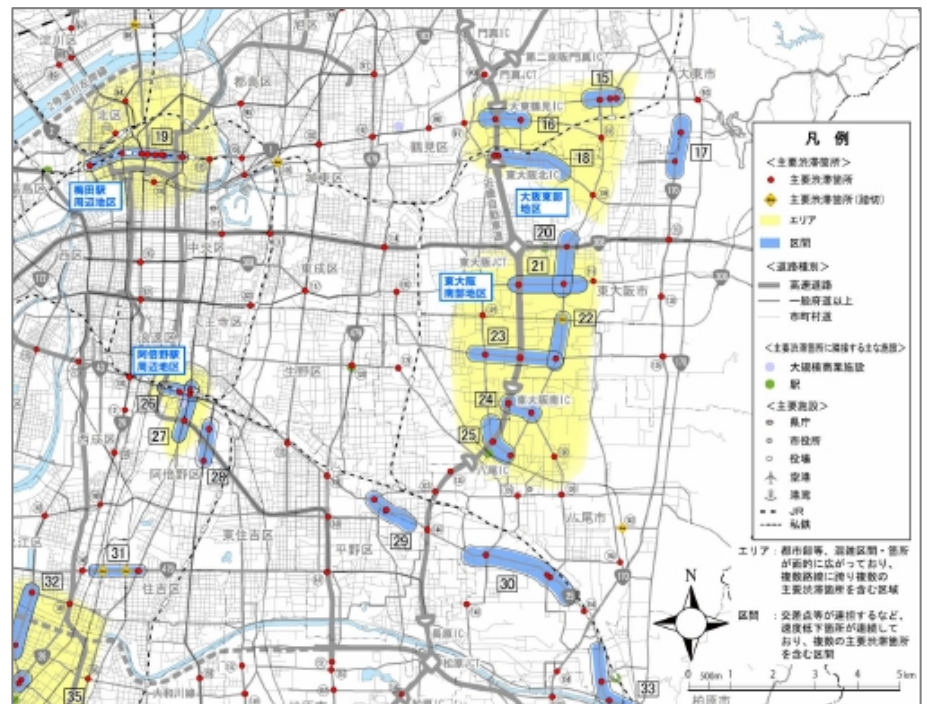
- 主要渋滞箇所は近畿地方整備局ホームページ上でご覧いただけます。

京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会

検索

URL: <http://www.kkr.mlit.go.jp/road/juutai/pdf/kasho.pdf>

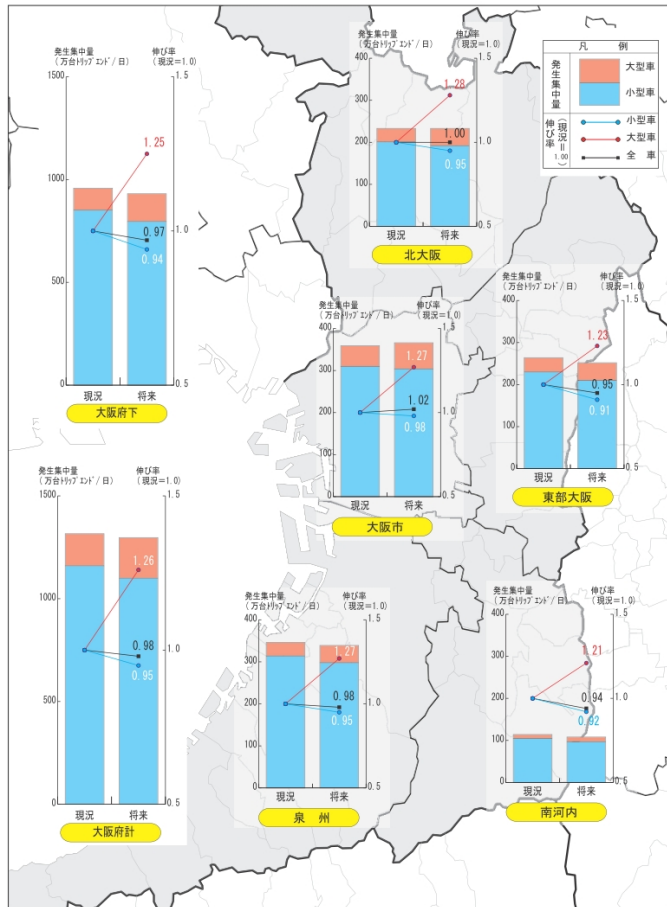
右図のように京阪神における渋滞箇所がご覧いただけます。
（図は一部を抜粋したもの）



将来交通量の特徴（国の動きに合わせた府推計結果）

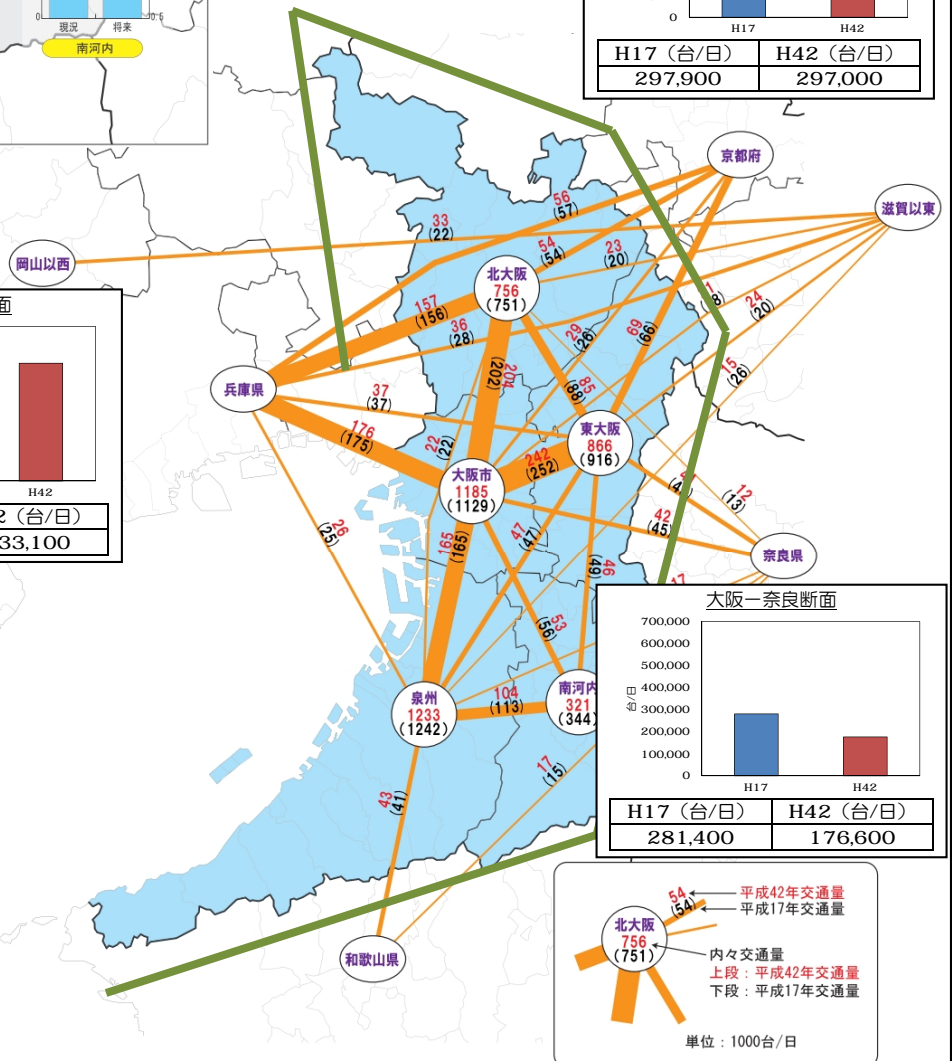
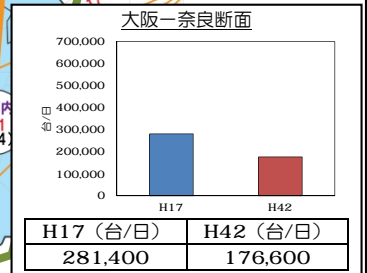
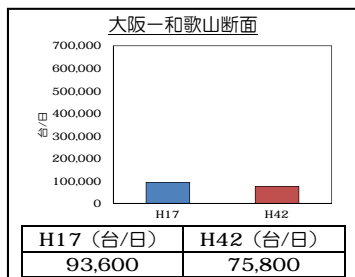
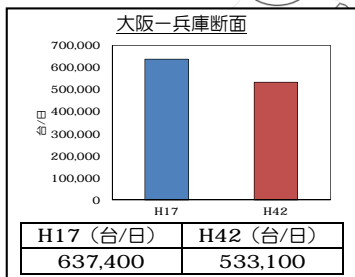
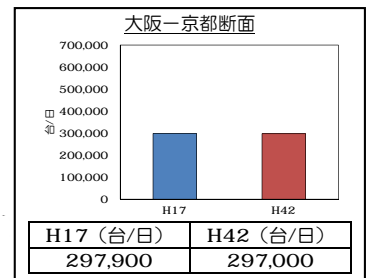
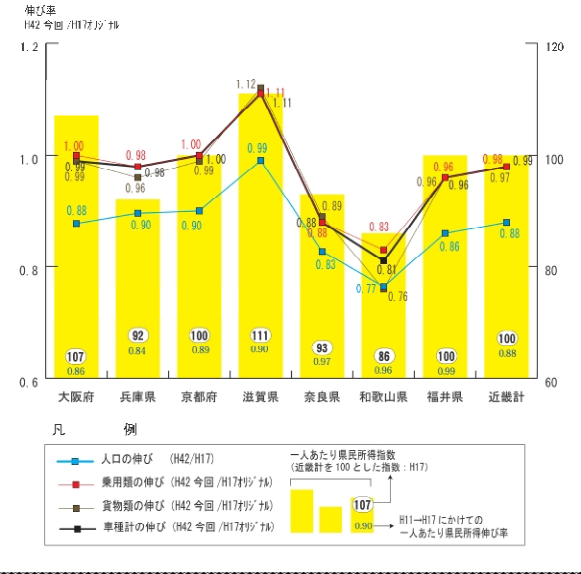
【大阪府関連 OD 交通量について（H17-H42 の傾向）】

大阪府内の交通量はほぼ横ばいとなっており、「大阪-兵庫断面」「大阪-奈良断面」の交通量は減少傾向となっています。



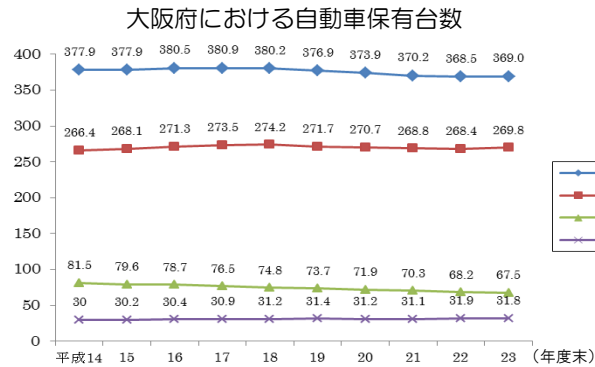
府県別自動車発生集中度と人口の伸び率

※自動車発生集中度の伸び率は H17 セグ→H42



自動車保有台数

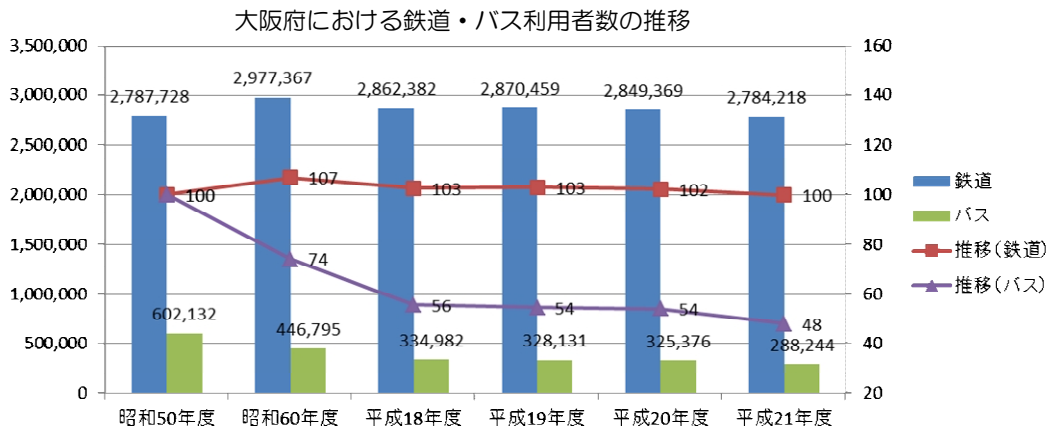
府域における自動車保有台数は、372万台（平成21年12月末）で府民2.4人に1台の割合で自動車が保有されていることになり、車種別にみると乗用車が72%、貨物車が19%を占めています。自動車保有台数の推移は、この5年間で2.2%減少しています。



資料：(財)自動車検査登録協会の資料

鉄道・バス利用者数の推移

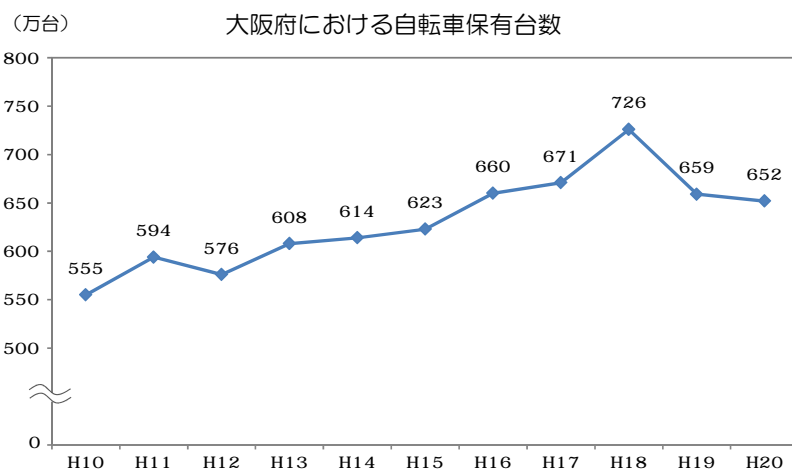
府域における鉄道・バス利用者数は、昭和50年を100とすると、平成21年では鉄道が100、バスが48となっており、特にバスの利用者数が大きく減少しています。



資料：平成22年版地域交通年報

自転車保有台数

府域における自転車保有台数は、652万台（平成20年度末時点）で府民1.36人に1台の割合で自転車が保有されていることとなります。なお、全国では自転車保有台数は6910万台で、国民1.85人に1台の割合で自転車が保有されており、大阪府では自転車の保有率が非常に高いことがわかります。



資料：(財)自転車産業振興会の資料